

とっとり 県議会だより

令和2年11月定例会

No.035
Nov.
11月
議会

主な記事 Contents

代表質問 ……………	2p
一般質問 ……………	3~6p
令和元年度決算認定 ……	7p
常任委員会活動 ……	8~9p
議決結果 ……………	10~11p
お知らせ ……………	12p



日本パラ陸上競技連盟 提供

11月定例会の概要

11月定例会は11月26日に開会し、平井知事から総額64億2千万円余の令和2年度鳥取県一般会計補正予算(第7号)や鳥取県収入証紙条例を廃止する条例、鳥取県性にかかわらず誰もが共同参画できる社会づくり計画の策定など21議案が提案された。

本会議では、代表質問を県議会自由民主党が行い、一般質問には24名の議員が登壇。県政の幅広い諸課題について知事らと活発な議論を展開した。

会期中、教育委員会委員の人事案件1議案、諮問1件が追加提案された。

審議の結果、知事提出議案については、9月定例会から継続審査となっていた2議案を含む25議案すべてを原案どおり可決、認定、同意した。

議員提出議案については、立皇嗣の礼を祝して天皇陛下に差し上げる賀詞、立皇嗣の礼を祝して皇嗣殿下に差し上げる賀詞、不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書の3議案が提案され、原案どおり可決した。

陳情については、女性差別撤廃条約選択議定書の早期批准を求める意見書の提出についての陳情を趣旨採択、ほか4件を不採択と決し、12月17日に22日間の会期を閉じた。

表紙の写真

かわぐち りお
川口 梨央 選手
(鳥取市出身)

- ・世界ジュニアパラ (2019年8月・スイス) 走幅跳 1位
- ・ジャパンパラ (2019年7月・岐阜県) 走幅跳 2位



新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力をお願いします

新型コロナウイルス感染症特設サイト
最新情報、相談窓口などを確認できます。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/corona-virus/>

キーワード 鳥取県 新型コロナ 🔍 検索



代表質問

鳥取県議会自由民主党



ポストコロナの県政運営

問 ポストコロナの社会像をどのように見通し、知事任期後半の取組につなげていくのか。

答 新しい住まう形や働く形を念頭に置く必要がある。また、交流を再スタートし、持続可能性を考える。山陰の中の鳥取県を輝かせる必要がある。

新型コロナウイルス対策

問 感染流行期に備え、診療・検査医療機関の確保が必要。どのように協力体制の強化を図るのか。

答 2022の医療機関が参加。大抵の診療所で相談・検査できる体制が整った。休業せざるを得なくなった場合の補償措置など更なる環境整備

を図っていく。

行政のデジタル化

問 マイナンバーカードの有効性と必要性を県民に対してどのように周知していくのか。

答 残念ながら普及が進んでいない状況。行政のデジタル化を推進する意味で、市町村とも連携しながら進める。利便性を高め、県民にも有利性を広報する。

高規格道路整備

問 米子と境港を結ぶ高規格道路は知事や米子・境港両市長、日吉津村長もその必要性を合意しているが、今後の具体的な見通しは。

答 米子・境港間のみならず、六道湖・中海圏域全体についての道路ネットワーク勉強会が発足した。ここで一定の整理をしながら、整備につなげていく。

新しい観光スタイル

問 小規模分散型旅行など、新しい観光スタイルへの対応は。

答 アウトドア型の観光や少人数の

家族向けの旅行など、トレンドに沿った商品販売戦略を事業者と協力しながら進めていく。

農林水産物のブランド化

問 販路拡大を目指す上で、GI制度（※1）は有効な手段の一つ。制度の意義や必要性について、生産者もとより、消費者にも発信すべき。

答 GIを取得しているスイカやラッキョウ、ブロッコリーなどは、コロナ禍でも農家の所得アップの下支えとなった。世界戦略をにらんだ次のGI取得を後押ししていく。

森林・林業・木材産業

問 林業は労働災害の発生率が高い。労働災害防止教育、労働災害改善等を組織的に行うべき。

答 民間事業者からは研修が必要との意見もあり、県も一緒に協議している。研修機関連の高度化なども図りながら防災対策を進める。

二酸化炭素排出実質ゼロ

問 2050年カーボンニュートラル（※2）の目標実現に向けて、どのように取組を加速化させるのか。

答 バイオマス発電や森林管理、事業者や県民の協力で実行していけば、実現可能ではない。実効性ある対策を国に求めていく。

ICT教育の推進

問 ICT教育推進のためには、教員の指導力向上や人材育成が重要なポイントとなる。どのように対応するのか。

答（教育長）各学校のICT推進リーダーを中心に、校内全体の意識の高まりが見られる。引き続き市町村と連携して取り組む。

警察活動の基盤強化

問 警察官の働き方改革、ワークライフバランス、女性活躍の推進にどのように取り組むのか。

答（警察本部長）多様な働き方が受け入れられ、男性・女性を問わず、職員一人一人が心身ともに健康で、持てる能力を最大限発揮できる職場環境の構築を推進する。

空中給油・輸送機配備計画

問 展示飛行や騒音測定を実施するには、実機が美保基地に納入される必要がある。そのような考え方で防衛省との調整を図るべき。

答 ポイントは境港市、米子市、両市の考え方。両市の考え方をベースとし、C-12配備時と同様に展示飛行等によるチェックを行い、県民の安全の担保を取って、最終的に進んでいくことになる。

※1 GI制度：地理的表示保護制度。品質等の基準を満たす産地・産品だけが名称を使用できることとして保護する制度。
 ※2 カーボンニュートラル：二酸化炭素の排出と吸収が、プラスマイナスゼロになる状態のこと。

一般質問

11月定例会では、24人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。

コロナ禍での社会的弱者支援について



島谷 龍司 議員
選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 新型コロナにより大きな影響を受けている社会的弱者へのより一層の支援取組が必要では。

答 鳥取県として福祉のニューノーマルに挑戦しなければならないと思う。デジタル化の進展に伴う介護予防や高齢者の社会参加プログラムの研究、認知症についての基本条例の検討、県独自の障害者就労事業版の持続化給付金の実施、さらに低所得者への資金制度支援に加え所得格差解消に向けた対策の総合的なアプローチをしなければならないと考えている。

脱炭素社会に向けたエネルギー地産地消推進



福浜 隆宏 議員
選挙区 鳥取市
会派 無所属

問 再生可能エネルギー地産地消を進めるため、大規模な県外資本ではなく、地元が51%資本を取り利益は地元循環、電力の売り先や後処理の責任も地元が主導する形が理想。地元資本の新電力にとっても需給バランスを壊さない程度の開発を中心に進めた方が賢明ではないか？

答 地域新電力に供給を優先することはやっていく。蓄電して効率良く使う地域のシステムづくりの応援など探っていく。需給バランスは国全体の課題で、県も地域の送電網等を考えたい。

①②県立美術館 ③④不妊治療体制整備



語堂 正範 議員
選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

問 ①県立美術館開館に遅れないか。機運醸成のためのイベントを行っては②国道179号はわいバイパスの早期整備・早期供用を③県立病院の不妊治療体制が整っているか④体制整備を。

答 ①(教育長)当初の予定どおり進んでいる。イベントなど様々なところと連携し取り組んでいく②北条道路と連動して整備を図る③(病院事業管理者)厚生病院は人工授精のみ。機器や人員体制の充実を図る④治療できるところを増やさなければならない。しっかりと展開を図る。

部活動の車による送迎 風力発電と住民意思



尾崎 薫 議員
選挙区 鳥取市
会派 会派民主

問 教員等による練習試合への生徒送迎禁止は現実と乖離。これを放置してきた教育長の所見を問う。規則変更が送迎増等教員負担にならないようにすべき。

答 (教育長)反省すべき点は大いにある。教員の負担に関し、バランスのとれた部活を進める。

問 練習試合等でもバス利用の経費助成の検討を。

答 当初予算で整理していく。

問 風力発電計画で説明を求めたが、住民は置いてけぼりだ。

答 業者の手続きは入口にも来ていない。厳正に審査する。

農業高校教諭の農業大学校への派遣について



澤 紀男 議員
選挙区 米子市
会派 公明党

問 農業大学校へは平成29・30年の2年間、農業高校教諭が派遣され、現在は見合わせている。派遣は農業高校教育において意義があると考え。県立農大への教諭派遣による教育効果、波及効果、また今後の継続派遣の必要性について教育長に伺う。

答 (教育長)派遣の意義は大いに認識している。花き、野菜などの専門的な知識や関係機関・農家とのネットワークが広がり高校での指導に生かしている。現在、やむを得ず中断しており、何とか派遣を継続していきたい。

県民みんなで自転車の活用推進を



松田 正 議員
選挙区 米子市
会派 自由民主党

問 ①ナショナルサイクルルート指定に向け、新年度どう臨むのか②県職員のヘルメット着用率が1割弱だが③タンDEM自転車公道走行解禁の要望書が提出された。早急に解禁すべき。

答 ①官民が連携した「鳥取県サイクルツーリズム推進機構」を設置し、次回指定に向けて備えたい②公務員には遵法義務がある。自転車通勤のルール作成等で意識改革したい③(警察本部長)県道交法細則一部改正の準備を進めている。期待に沿えるような時期に解禁したい。

一般質問

会派
正式名称

【自由民主党】鳥取県議会自由民主党
【会派民主】会派民主
【公明党】公明党鳥取県議会議員団

①コロナ感染防止対策 ②農山村の小水力発電



興治 英夫 議員

選挙区 倉吉市
会派 会派民主

問 ①医療崩壊を防ぐため、重症化対策が必要だ。低温保管が必要なワクチン接種の準備を②土地改良区や農村集落等での小水力発電の後押し支援を。

答 ①重症化させないよう早期検査・入院を続けていく。中部の重症者病床が少ないので、全県で融通し、病床を増やすことも模索する。ワクチンは早く情報収集し、円滑な接種ができる体制を作る②地元主導のものなら、中電との系統連携に県も協力し、助成制度の補助率を高めるなど、見直し改善を考える。

ジオパークの支援体制 県立高校の在り方



広谷 直樹 議員

選挙区 岩美郡
会派 自由民主党

問 ジオパークによる地域活性化推進のためには更なる認知度の向上を図り、国の支援体制の整備が急がれると思うがどうか。

答 国会議員のジオパーク議連と一体となり様々な支援策を働きかける。最近教科書に鳥取砂丘が取上げられ存在感が出てきた。更なる売り込みを図る。

問 高校入学者が2年連続で募集定員の2/3に満たない学校が複数校あるが、学級減の対象か。

答 (教育長) そういう状況になれば基本方針どおり3学級から2学級へ減の対象として検討していく。

①美保湾・弓ヶ浜の保全 ②境総合高について



安田 由毅 議員

選挙区 境港市
会派 自由民主党

問 ①美保湾・弓ヶ浜の保全活動には中海・宍道湖ラムサール条約登録のように、地域の誇りを形にするような旗印が必要では②コロナ禍において、改めて専門高校に光を当てるべきでは。

答 ①サイクリングロードを中心に白砂青松、美保湾を守る活動を県民と共に今後も進める②(教育長) コロナ禍の中で専門高校の重要性の高まりを認識している。設備整備、活動経費を県としてもしっかりと支援する。県民に対しての情報発信も行い、魅力度向上に努める。

①介護報酬②犯罪被害者 ③淀江埋蔵文化財



浜田 妙子 議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

問 ①コロナ特例措置により高齢者負担が増えた。国に解決を②犯罪被害者支援の特に経済的支援の充実を③淀江産廃予定地前方後円墳は地下水調査結果が出る迄ストップし、専門家を交え今出来る事を見定めて欲しい。

答 ①的確に政府にも意見を申し上げたい②見舞金も含めたフォローアップや人権についても2月議会に向け検討したい③正直同感。地下水調査結果がどうなるか分からないのであれば一旦は保存の形も可能かと。専門家の意見も聞きよく相談したい。

コロナ、高校生就職、 南北線、米軍機、風力



市谷 知子 議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

問 ①コロナ対策②薬局に慰労金を③前年実績で介護デイサービス重度加算を④学生緊急給付金の再給付⑤事業所に再応援金⑥ジャパンディスプレイ国内回帰は全て県内雇用⑦来春卒高校生の県職員採用⑧南北線中止⑨米軍機の騒音測定器設置⑩風力発電に市民参加の県ルールを。

答 ①②知事会で緊急提言③従来どおり出るよう適用緩和④12月再配分⑤商工団体の意見踏まえ必要な対応⑥しっかり働きかける⑦5名拡大⑧様々な意見に丁寧に対応⑨国に要請⑩必要ない。

動物愛護取組推進を図り 地域との連携強化を



濱辺 義孝 議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

問 動物愛護ボランティアの皆さんと意見交換を実施。保健所に収容されている犬猫の健康状態が心配等様々な意見があった。動物愛護の取組には、多くの人の支えが必要。地域毎に意見交換を実施して、情報共有し理解を深め連携強化を推進すべきと考えるがいかがか。

答 民間の皆さんと協働して実践を図ることが重要。今後とも連携強化を図り、意思の疎通を重ねて行く。県とボランティアの適切な役割分担のルールを明確化し実施していきたい。

一般質問

【答弁者説明】 答弁者は、記載のないものは知事(各部長の答弁も含む)。教育長、警察本部長、病院事業管理者は知事の部局ではないため、別に表記した。

①グランピング(※) ②少子化対策 ③IT人材育成



常田 賢二 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 ①グランピング推進の可能性は②コロナ禍、出会いの機会の創出が必要では③鳥取県版Society5.0を推進する時代に、いかにしてIT人材を育成しようと考えているのか。

答 ①これからの観光の一つのツールになり得る。新年度予算に向けて考える②新型コロナを経て、出会いの場の必要性が若者の間で高まった。色々工夫して提供していけるよう関係者と知恵を絞っていく③情報産業協会等と連携し、IT人材確保の受け皿づくりを進めていく。

鳥取の未来型産業創生 柿試験地移転問題



山口 雅志 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 ①宇宙産業等、鳥取の未来産業を担う部署の新設は②河原柿試験地の園芸試験場(北栄町)への移転についての考えは。

答 ①技術開発、新産業創生ビジョン、販路形成マーケティングなど多様な支援をしながら、鳥取県の中に新しい産業の核を作っていけるように「産業未来創造課」のような部署を新設して組織的に対応していく②柿農家の考えをしっかりと受け止め、納得いただけるよう意思疎通を図り、柿の生産を強く賑やかにする。

①デジタル化への環境整備 ②ICT教育環境



藤井 一博 議員

選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

問 ①デジタル化に関わるインフラ整備として、県内各市町村の光ケーブルへの転換状況は②令和3年3月末には、小中学生に1人1台の学習用端末が準備されるが、Wi-Fi環境等の実態把握は。

答 ①14市町村で整備され、残り5市町も進みつつある。財源については全国知事会から政府に働きかけたい②(教育長)家庭のネット環境は8割から9割整備されている。各市町村において、ポケットWi-Fiの配布や公民館等の活用を進められている。

PCR検査の拡充 産廃計画地の県道用地



山川 智帆 議員

選挙区 米子市
会派 無所属

問 民間が行う安価なPCR検査について、県も検討すべきでは。

答 今は未定の段階。住民の思いに従って努める。県として、できることを別途考えていく。

問 淀江産廃計画地周辺の県道用地が必要以上に購入され、不要になった土地は安価に売却されたのはなぜか。

答 私の就任する前のこと。当時は、地籍混乱地では全筆買収し、残地は隣接地の所有者等に売却していた。民間事業者が購入したが、産廃を計画する前であり、関連性はない。

学校での定期研修で いじめ早期発見解決を



銀杏 泰利 議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

問 ①鳥取県いじめ対応マニュアルを使い、学校内で定期的に研修会を行うこと。

②いじめ・不登校総合対策センターと学校とがダイレクトに結ばれる仕組みを構築すること。

答 (教育長) ①さらにさらに力を入れて、充実させて取り組んでいく。校内で研修が進む仕組みづくりを検討する。保護者に対する研修も、利用しやすい仕組みを考え、研修の充実、機会の充実など努める。

②市町村ともしっかりとタッグを組んで取り組む。

天神川の100年確率の豪雨対策について



川部 洋 議員

選挙区 倉吉市
会派 自由民主党

問 天神川は伊勢湾台風並みの40年確率の豪雨に対して治水が進められ、ほぼ9割完了したが、100年確率以上の豪雨がいつ起きてもおかしくない近年の状況を考えれば、本来の計画である室戸台風並みの100年確率の豪雨に備えることが必要だと考えるがどうか？

答 現状の河川整備計画の次を議論しなければいけない。県もソフト対策、流域対策で協力するが、政府に十分働きかけ、国が河川整備を責任を持って前進するよう訴えかけていきたい。

※ グランピング: グラマラス(魅力的な)とキャンピングを掛けあわせた造語。テントの設営や食事の準備などの手間がかからず、自然体験ができる新しい形のキャンプ。

一般質問

議事録の全文は、県議会ホームページからご覧いただけます。

鳥取県議会

検索



※掲載に時間がかかる場合があります。

SDGsを見据えた資産活用と産業振興



野坂 道明 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

問 ①長期間塩漬けの県有資産や未利用財産について県総務部で一元管理し更なる活用や売却の促進を図るべき②SDGsを踏まえHACCP(※)対応の観点から境港高度衛生管理型市場の設備改修を含む早急な改善策が必要③バイオマス発電燃料の県産木材チップの供給促進を図るべき。

答 ①民間の力も入れ売却や活用に向けて手法を強めたい②市場関係者の意見を聞きながら利用促進を図りたい③SDGsへの貢献をバイオマス発電向けの木材チップ活用でも進めたい。

環境大学におけるデジタル人材の育成



内田 隆嗣 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

問 公立鳥取環境大学について、新学部や学科の増により、デジタル人材を育成する機関として、役割を果たせないか？

答 副専攻のような形で、ICT関連だとか、情報工学やデータサイエンスというものに学びを深めていけるような大学のカリキュラムにならないか、また、それに向けた教員配置等々も考えていけないか。そういう言わば現実的な解を今見いだそうとしているところ。

中山間地域の課題解決に向けた県の役割



由田 隆 議員

選挙区 倉吉市
会派 無所属

問 鳥取県の人口は昭和63年の61万6千人を境に人口減少が続き県も山間集落实態調査等実施し、中山間地域振興行動指針で各種の政策を実施しているが実態調査、行動指針とも実態に即していない。見直しを求める。

答 この山間集落实態調査は平成2年西尾県政時代に始まり、対象は111集落で中山間地域の全体像となっていない。行動指針の見直しも、今日のご提案を踏まえダイナミックに中山間地域にアプローチが出来るように考えたい。

地域を守る営農支援 県有施設活用のあり方



福間 裕隆 議員

選挙区 西伯郡
会派 会派民主

問 営農組織の個々の実態を踏まえ、適切な時期に、それに沿った支援を。

答 集落営農組織の厳しい現状は十分認識。現場の意見を大切にし、所要の見直しをする。

問 運営手法の選択に限らずそもそもの設置目的、果たしている役割、維持向上の方策等個々の実情を踏まえた判断が必要。

答 管理運営、コンセッション等は経営手法の問題。重要なのは施設の設置目的に沿った効果の発現。趣旨を貫徹して、議論もその基本を外さないのが筋道だ。

①米子の交差点改良 ②ひとり親家庭支援



西村 弥子 議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

問 ①義方小東側交差点の歩道を狭めて車道を拡幅し、スクールゾーンに交通を促す県道工事は適切なのか。地元で説明し再検討してほしい。また歩行者の安全を考え小学校前の道に右折禁止の交通規制をかけてはどうか②コロナで旅行にも行けないひとり親等困窮家庭への支援は。

答 ①時間を頂いて地元とさらに調整する。執行自体のスタートを止め、意思疎通を図り、より良い形になればと思う②家族まるごと相談窓口設置など、機動的に寄り添う施策を展開したい。

企業誘致、除雪対策、ひきこもり対策



中島 規夫 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 ①企業誘致をどう進めるか②冬に向けた除雪対策は③ひきこもりの現状把握と対策は。

答 ①首都圏、関西圏や海外等大都市ではないところでのビジネスチャンスや地元企業の拡張など注力・対応したい②市内の除雪出動基準を積雪5cmに下げたほか、高規格道路と並行道路との迂回路確保と連動した除雪について国・市町村と連携する③ひきこもり生活支援センターの活用、市町村の取組支援やサポート強化など、関係者と調整・意見交換して進めたい。

※ HACCP(ハサップ)：国際的に推奨されている食品の安全性を確保するための衛生管理手法。

令和元年度決算を認定

決算審査特別委員会は、12月16日、「令和元年度鳥取県営電気事業会計未処分利益剰余金の処分及び令和元年度鳥取県営企業決算の認定について」「令和元年度鳥取県営病院事業決算の認定について」「令和元年度決算の認定について」の3議案を可決または認定すべきものと決定し、最終的に17日の本会議で可決または認定された。

鳥取県議会では、適正な予算の執行と編成のために、決算審査特別委員会を通年設置とし「総務教育」「福祉生活」「農林水産商工」「地域づくり県土警察」「県営企業」「病院事業」の6分科会を設け、効率的かつ詳細な審査を行っているほか、新年度予算に審査結果を反映させるため、例年11月定例会で決算認否を議決している。



決算関係は、9月定例会から本格的に審査を開始。分科会ごとに書類審査、集中審査、現地調査などを重ね、最後は委員全員で議論を行った。

その結果、文書指摘5件、口頭指摘8件を行ったうえで、可決または認定が妥当と決定した。

同委員会は2月定例会で、指摘事項を予算にどう反映したか、知事ら執行部から説明を求め、決算と予算の審査を一体化することで、より適正な予算編成の実現を図ることとしている。



文書指摘の概要

(1) 医療的ケア児に係る地域生活支援の充実

医療的ケア児の正確な把握ができていないため、各市町村における正確な情報把握の働きかけや、連携した詳細把握に努めるべきである。

小児慢性特定疾病児童等の一時預かり事業は、年間240日の事業計画に対し利用実績が1日だったことから、対応策の検討とともに、専用電話窓口による相談体制の充実など利用者支援に努めるべきである。

(2) 若年性認知症患者の支援

若年性認知症サポートセンターで支援しているのは県内約200名の対象者のうち50名程度であることから、対象者をサポートセンターへ迅速につなげるための相談体制を認知症疾患医療センターの病院に構築するとともに、市町村の地域包括支援センターが若年性認知症の方の窓口として対応するよう働きかけるべきである。

(3) 新規就農者・雇用就農者増加のための支援

県農業生産1千億円達成プランでは、新規就農者の年間200人増を目標としているが、令和元年度は達成できていない。

農業人材の確保・育成・定着に向けて、地域・産地の受入体制を整えるよう、相談窓口や支援体制の充実が必要である。また、コロナ禍で地方や農林水産業への関心が高まっていることから、この機を逃さず新たな就農につなげるべきである。

(4) 境港市場高度衛生管理型市場整備

高度衛生管理型市場に整備したシャーベットのアイス製造装置がほとんど利用されていないことから、高度衛生管理型市場が先導し、小型漁船への積み込みも含めたシャーベットの活用により、漁獲時から市場での水揚げ後まで徹底した温度管理を実施し、高度衛生管理による水産物の出荷体制を整備していくべきである。

(5) 第Ⅲ期病院改革プランの点検・評価と次期改革プランの策定

両県立病院では、第Ⅲ期病院改革プランに基づき、健全経営の確保等に取り組んでいるが目標を達成できておらず、医療・看護体制の更なる充実も必要である。

同プランの5年間の取組を点検・評価し、県民に信頼される病院づくりのためのより実効性の高い次期改革プランの策定を進めるべきである。

常任委員会活動

福祉生活病院 常任委員会

委員長 副委員長



坂野 経三郎 (民主)鳥取市 常田 賢二 (自民)鳥取市 市谷 知子 (無所属)鳥取市 由田 隆 (無所属)倉吉市 浜田 妙子 (民主)米子市 広谷 直樹 (自民)岩美郡 野坂 道明 (自民)米子市 川部 洋 (自民)倉吉市 藤縄 喜和 (自民)鳥取市

◎11月定例会審査結果

本委員会所管の補正予算など4件の議案について、慎重に審査を行い、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。また、新たに提出された陳情「風力発電施設のガイドラインの策定について」は、求められている内容のうち、権限が及ぶものは、既に鳥取県環境影響評価条例及び条例に基づく技術指針で規定されていることから「不採択」と決定した。

◎県内調査 (11/24)

米子児童相談所で令和元年度夏に発生した施設内虐待の再発防止に関し、児童相談所の組織体制等の強化や子どもの権利擁護の充実などの取組状況について現地調査を行った。

◎出前県議会「子どもの権利保障について」(11/24)

児童養護施設、児童相談所、県子育て・人財局に参加いただき、児童虐待の未然防止、子どもの権利擁護の重要性に関する啓発、子どもの意見表明権の保障などを中心に活発な意見交換を行った。



地域づくり県土警察 常任委員会

委員長 副委員長



中島 規夫 (自民)鳥取市 山口 雅志 (自民)鳥取市 森 雅幹 (民主)米子市 松田 正 (自民)米子市 藤井 一博 (自民)東伯郡 興治 英夫 (民主)倉吉市 斉木 正一 (自民)米子市 銀杏 泰利 (公明)鳥取市

◎11月定例会審査結果

一般会計補正予算案など5議案について慎重に審査を行い、いずれの議案も妥当なものと認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。

また、新たに提出された陳情は2件あり、このうち「百塚古墳群の歴史的価値を鑑みての産業廃棄物最終処分場としての使用について」は、第三者機関である地下水等調査会が地下水の流向について現在調査しており、事業者はこの調査が終了するまで設置許可申請書を提出しない意向であるほか、申請があったときには、県も厳正に審査することとしており、これらの状況を注視する段階にあると考えることから「不採択」と決定した。

◎倉吉市で出前県議会を開催 (11/11)

「コロナ禍における観光業への影響と回復に向けた取組」をテーマに、旅館組合、観光団体、行政が一堂に会し、課題や今後の需要拡大に向けた取組等について活発な意見交換を行った。



鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審査に加え、閉会中も継続調査や現地調査、勉強会などの活動を続けています。

総務教育 常任委員会

委員長 副委員長



浜田 一哉 (自民) 境港市 尾崎 薫 (民主) 鳥取市 福浜 隆宏 (無所属) 鳥取市 語堂 正範 (自民) 東伯郡 伊藤 保 (民主) 東伯郡 内田 博長 (自民) 日野郡 浜崎 晋一 (自民) 鳥取市 澤 紀男 (公明) 米子市 福田 俊史 (自民) 八頭郡

◎11月定例会審査結果

一般会計補正予算議案を含む本委員会所管の7議案及び諮問案件を慎重に審査した結果、議案についてはいずれも妥当なものと認め、原案のとおり可決すべきものと決定し、退職手当不支給処分に対する審査請求の諮問については、「知事の裁決案は適当と認める」とすべきものと決定した。

そのほか、継続審査中の陳情「女性差別撤廃条約選択議定書の早期批准を求める意見書の提出について」は、今しばらく国の調査検討、議論を見守ることが適当と考えるといった意見を受け、採決の結果、「趣旨採択」と決定。また、新規陳情1件については、「不採択」と決定した。

◎倉吉東高で出前県議会開催(11/9)

コロナ禍で実践されたオンライン学習等の実態や成果、課題等を共有し、さらなる感染拡大など平常の学校運営に支障をきたす事態に備えたICT教育の取組や全県展開に向けた課題、新しい生活様式下での学校運営のあり方等について生徒、教職員等と闊達な意見交換を行った。



農林水産商工 常任委員会

委員長 副委員長



島谷 龍司 (自民) 鳥取市 鹿島 功 (自民) 西伯郡 西村 弥子 (民主) 米子市 山川 智帆 (無所属) 米子市 安田 由毅 (自民) 境港市 濱辺 義孝 (公明) 鳥取市 福岡 裕隆 (民主) 西伯郡 内田 隆嗣 (自民) 米子市 西川 憲雄 (自民) 八頭郡

◎11月定例会審査結果

本委員会所管の「令和2年度鳥取県一般会計補正予算(第7号)」など6件の議案について、慎重に審査を行った結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。



◎倉吉市で出前県議会を開催(11/6)

「新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた県内中小企業等への支援について」をテーマに倉吉市内で出前県議会を開催した。関係団体として、鳥取・倉吉・米子・境港の各商工会議所及び県商工会連合会、県中小企業団体中央会、そして県商工労働部に参加いただき、関係団体からはコロナ禍における県内事業者への支援の現状や課題等について伺い、活発な意見交換を行った。

この度の議論は、関係団体がそれぞれの持ち場で今まで以上に寄り添った支援が出来るよう研鑽に励み、この危機を乗り越えていくための共通認識を深める機会となった。

自由民主党											会派民主						公明党			無所属			賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果					
浜田	中島	内田	内田	齊木	浜崎	西川	広谷	野坂	島谷	川部	福田	藤縄	西村	坂野	森	尾崎	浜田	興治	伊藤	福岡	濱辺	澤					銀杏	福浜	市谷	山川	由田
一哉	規夫	隆嗣	博長	正一	晋一	憲雄	直樹	道明	龍司	洋	俊史	喜和	弥子	経三郎	雅幹	薫	妙子	英夫	保	裕隆	義孝	紀男	泰利	隆宏	知子	智帆	隆				
議案に対する賛否																															
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	可決及び認定
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	認定
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	決定
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	可決
委員長報告に対する賛否																															
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	24	10	34	趣旨採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	23	11	34	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	23	11	34	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	21	13	34	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	23	11	34	不採択

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」等の区分による。
 …請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「研究留保」「不採択」の区分による。

議案等番号	件名	議決結果
⑮	鳥取県性にかかわらず誰もが共同参画できる社会づくり計画の策定について	可決
⑯	公の施設の指定管理者の指定(鳥取県立とっとり花回廊)について	可決
⑰	当せん金付証票の発売について	可決
⑲	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決
⑳	鳥取県被災者住宅再建等支援条例の一部を改正する条例	可決
㉑	鳥取県収入証紙条例を廃止する条例	可決
㉒	鳥取県教育委員会委員の任命について	同意
諮問第1号	退職手当不支給処分に対する審査請求の裁決について	適当
①	立皇嗣の礼を祝して天皇陛下に差し上げる賀詞	可決
②	立皇嗣の礼を祝して皇嗣殿下に差し上げる賀詞	可決
③	不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書	可決

令和2年11月定例会付議案等議決結果（賛否が分かれた議案及び否決された議案）

議案等番号	件名	自由民主党						
		松田正	藤井一博	鹿島功	山口雅志	安田由毅	常田賢二	語堂正範
9月定例会第16号	令和元年度鳥取県営電気事業会計未処分利益剰余金の処分及び令和元年度鳥取県営企業決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○
⑱	令和元年度決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○
	決算認定に係る指摘事項 [9月定例会第16号及び17号並びに11月定例会第18号]	○	○	○	○	○	○	○
⑦	令和2年度鳥取県営病院事業会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○
⑩	鳥取県立とっとり花回廊の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○
⑫	工事請負契約(国道313号(倉吉関金道路)橋梁上部工事(上古川橋(A1~P4))(補助改良))の締結について	○	○	○	○	○	○	○
議案等番号	件名	委員長報告						
陳情2年-27	女性差別撤廃条約選択議定書の早期批准を求める意見書の提出について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○
陳情2年-29	日本学術会議任命拒否問題に係る真相究明等を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情2年-30	風力発電施設のガイドラインの策定について	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情2年-31	全国知事会の提言に基づき、新型コロナウイルス禍における日米地位協定の抜本的改定に取り組むよう求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情2年-32	百塚古墳群の歴史的価値を鑑みての産業廃棄物最終処分場としての使用について	不採択	○	○	○	○	○	○

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案
 賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長。

※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

令和2年11月定例会付議案等議決結果（全会一致で議決された議案）

議案等番号	件名	議決結果
9月定例会第17号	令和元年度鳥取県営病院事業決算の認定について	認定
①	令和2年度鳥取県一般会計補正予算(第7号)	可決
②	令和2年度鳥取県用品調達等集中管理事業特別会計補正予算(第1号)	可決
③	令和2年度鳥取県県営境港水産施設事業特別会計補正予算(第1号)	可決
④	令和2年度鳥取県港湾整備事業特別会計補正予算(第1号)	可決
⑤	令和2年度鳥取県営電気事業会計補正予算(第2号)	可決
⑥	令和2年度鳥取県営工業用水道事業会計補正予算(第1号)	可決
⑧	鳥取県税条例の一部を改正する条例	可決
⑨	公害に係る紛争の処理の手續に要する費用等に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑪	公衆に著しく迷惑をかける暴力的不良行為等の防止に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑬	財産の取得(青谷上寺地遺跡保存用地)についての議決の一部変更について	可決
⑭	損害賠償請求事件に係る和解について	可決



タブレット端末を試行導入しました

鳥取県議会では、今年度からタブレット端末を試行的に導入して、議会活動におけるペーパーレス化、議員及び議会事務局等の業務の効率化や議会活動の利便性の向上に取り組んでいます。

令和2年10月初めに議員向け操作研修会を開催し、タブレット端末の基本操作の方法やペーパーレス会議システムの使い方の説明を受け、試行開始に向けて準備を進めてきました。

今回の11月定例会から、4つの常任委員会において、従来の紙資料との併用により、タブレット端末を使用した会議資料の閲覧を始めました。試行開始の初日は、機器の使い方を事務局職員に尋ねている議員、執行部の説明に操作が間に合わないため、途中から紙資料を見ている議員



もいましたが、徐々に使い方に慣れてタブレット上で資料を閲覧している議員も多数見られました。

この試行開始を受けて今定例会中に開催した議会改革推進会議では、常

任委員会でタブレット端末を使用した際の問題点を洗い出して、その対応策についても話し合いました。委員からは、「閲覧だけなら問題ないが、タブレット上でメモを書いたりしていると執行部の説明から遅れてしまう」などの意見が出されました。



また、全議員にアンケート調査を実施し、どのような点が使いづらいと感じたか、今後の紙資料の要否など各議員の声を聞くこととなりました。

今後、1月の常任委員会での使用を経て、2月定例会中の常任委員会で使用していく予定であり、さらに来年度に向けては試行対象の会議を広げていくかどうか検討していくこととしています。

また、全議員にアンケート調査を実施し、どのような点が使いづらいと感じたか、今後の紙資料の要否など各議員の声を聞くこととなりました。

県議会からのお知らせ

2月定例会の日程案

期日	日程
2月26日(金)	本会議(開会・提案理由説明)
3月1日(月)	常任委員会
2日(火)	
4日(木)	本会議(代表質問)
8日(月)	
10日(水)	本会議(先議議案に対する質疑、常任委員会)
11日(木)	本会議(先議議案採決、一般質問・質疑)
12日(金)	
16日(火)	
17日(水)	本会議(一般質問・質疑)
19日(金)	
22日(月)	
24日(水)	常任委員会
25日(木)	特別委員会
26日(金)	本会議(採決・閉会)

※ 日程は変更の可能性があります。
 ※ 午前10時開始の予定です。

パソコン・スマートフォンで ご覧いただけます

本会議、常任委員会、特別委員会などの生中継と録画中継のインターネット放送は、パソコン・スマートフォンからご覧いただけます。

また、本会議はケーブルテレビでもご覧いただけます。



鳥取県議会ホームページは
こちらから→

あとかき

コロナで始まりコロナで終わった令和2年。
 ウィズコロナでスタートした令和3年。
 今後、感染収束が見通せない中であっても、県民の命と健康、そして経済と雇用を守るため、鳥取県議会は、全力を尽くしてまいります。

(広報委員長)